

北海道文教大学 後援会 後援会報

No.
14

CONTENTS

後援会活動報告	1
理事長・学長挨拶	2
キャンパスの現況	3
就職部便り	4

平成27年2月28日(土)

発行責任者 武永 真
発行係 〒061-1449 北海道恵庭市黄金中央5丁目196番地の1
北海道文教大学事務局学務部学生課内
北海道文教大学後援会 TEL.0123-34-0011

さらなる高みへ、発展・充実を願う

平成二十六年後援会活動・事業中間報告

北海道文教大学後援会会長

武永 真



はじめに

正月が明け、本会報十四号の入稿日が頭をよぎっていたある日、私は道央の総合病院に救急搬送され、緊急手術を受け激痛と闘っていた。病名は急性穿孔性虫垂炎。

生まれた時から健康そのもの(五十路に入り成人病関連の再検査指導はあるが)で、病院に向くのは人間ドックとお見舞いの時くらい。その程度のお付き合いである場所に、今自分がかかり、医師や看護師、介護士ら多くの医療従事者の慈悲のもとに手厚い医療・看護を受けているのである。高熱も感じないほどの身の置き所のない痛みの後、不自由で拘束された入院生活。これから二週間も続けねばならないとは……。

病院は、身体や心の病んだ人たちが再生を図るため、ある一定の時を過ごす場所。一方、医療従事者は、少しでも早くその苦痛を和らげ社会復帰を援けるべく、ケアに精進している。

この病院の医師はもちろん、看護師たちもまた二十四時間患者ファースト。皆笑顔が素晴らしく、言動が快活で思わず飲み込まれそうになる。信じていい雰囲気がある。入院は初体験ということも差引いても、これは感動ものである。

医療従事者を輩出

わが文教大学は「実学重視」を重んじ、人として生きていく上で重要な豊かな人間性、健全な社会性、高度な専門性の養成を行いながら、このような医療従事者を今まで何千人と育み世に送り出してきた。

もちろん、この病院でも多くの卒業生のことを耳にし、直接お話しもさせていただいた。皆それぞれに激務で大変そうであるが、そこには必ずしやんとした姿があり、輝く笑顔があった。

本学のプライド

医療系をはじめ栄養学や国際言語、いわゆる実学の世界に古くから多くの人材を輩出してきた。

本学の實力は、今年年間卒業生六学科五百百人の就職率が九十二・二%(昨年度よりさらに〇・三ポイントアップ)で、全国第三十三位、道内では二位と堂々としたもの就職に強い大学二〇十五年版から)。他に全く引けをとらない。

さらに、全国的にも大雪の中行われた二〇十五年大学入試センター試験においても、受験生は将来の就職に結びつく大学や学部を目指す傾向が強く、本学の受験倍率もまた上がったようだ。これまでの揺るぎない指導方針、就職活動プログラム、そして、強い信念を持って自己実現させていく学生たちの奮闘に対し、改めて敬意を表すとともに、その誇りとプライドを、これから各種国家試験を控える今春卒業の学生たちにも、大いに期待するところである。

下半期の主な事業

(1) 二十六年度父母懇談会

(第十六回榮凜祭の食券助成事業)

- 一日時 十月十二日(日)十時、
二会場 大学本館二階大講堂ほか
- 三内容 懇談会では、学生生活についての報告及び学科説明の後、担当教員との個別面談があり、父兄(今年度は約五百人)には榮凜祭食券千円分が提供された。
- 四感想 ①念願叶い「OB・OG 給食レストラン」で道産食材を使用した薄味の和食プレートランチをいただく。見た目・味・価格と三拍子揃って大満足。次年度はぜひ皆様も。②文教ファーム隣接地に新設された学友会作業場プレハブも整備され、活用されていた。③好天に恵まれ、また売出し中の若手俳優が来場するなど、何時にも増して賑やかな大学祭に。三十軒程の手作り屋台も、どこも盛況であった。



たくさんの学生でにぎわった百円朝食

(2) 百円朝食

「文教で朝食を」プロジェクト試行
一試行期間 九月二十四日から十月二十四日のうちの平日二十日間、いずれも七時半から九時

二提供数 一日百食限定

三内容 「おいしく健康に」をコンセプトとして、学生に朝食を習慣付けてもらおうと、人間科学部健康栄養学科が昨年度から発案企画・メニュー開発。食関連企業など十社が協賛・後援するなど、ほぼ毎食完売。アンケート調査からも十分な成果が得られたことがわかり、実費四百円のところを百円で提供し、差額分を後援会が予備費から負担することとした。大学では来年度から本格的に軌道に乗せたいことから、役員会で新年度の助成に向け検討している。

(3) 第二回役員会

一日時 十一月十四日(金)十八時〜二十時

二会場 札幌ガーデンパレスホテル

三出席 十七人(後援会理事十七人中十一人、教職員役員七人中六人)

四審議事項 (一) 二十六年度中間決算について

(二) 二十六年度追加事業について①下期予算執行計画②学友会作業場プレハブ建設補助及び百円朝食助成 (三) その他①キャンパスウォッチング②二十七年新規模補助事業計画ほか

(*定期監査) 十月十四日(火)十八時北広島、第二回ワーキンググループ(以下WG) 十月三十一日(金)十八時札幌

(4) 今後の日程

(-) 第三回役員会 三月十四日(土)十八時札幌 (* 第三回WG) 二月十四日(土)札幌 (二) 二十六年度学位記授与式 三月二十一日(日)十二時大学体育館 (三) 二十六年度卒業祝賀会及び同窓会入会式 三月二十一日(土)十八時札幌

おわりに

後援会役員は、大学と子どもたち、会員とを結び、快適な学生生活と文教大学のさらなる高みを目指し、その発展・充実に期したいと活動しています。次年度に向け、ともに役員としてご協力いただける方、よろしくお願ひ致します。

新しい年に・学生の未来を創造する 大学の使命

学校法人 鶴岡学園 理事長
北海道文教大学 学長

鈴木 武夫



新しい年を迎え、また新しい年度が目の前に迫っているこの時期に、世界もまた大きく変化する時点に差し掛かっておりますことは、新年を展望する多くの識者が指摘するところでは、

本学におきましても、新たな創造発展期ともいえるべき時期を迎える準備を着々と進めておりますことを、後援会の皆様にはしっかりとお伝えし確認しておきたいと存ずる次第です。

そのひとつが、平成二十七年四月にスタートする大学院人間科学部「健康栄養科学研究科健康栄養科学専攻(修士課程)」の設置であります。

この意義は、本道の栄養科学を高い専門性でリードする本学の歴史的使命の実現にあります。「北海道女子栄養学校」創設以来の伝統ある健康栄養分野での社会貢献を常に担い続ける存在としての責務を果たすところにあります。

次に外国語学部のカリキュラムと教育内容の改編の課題であります。世界の急速なグローバル化を背景にして、社会も大学教育も大きな岐路に立っていることは自明の状況にあります。

本学発足の起源である外国語学部は、グローバル社会を生き抜く高度な語学能力の伸長と、それを創造的に発揮する資質と、世界の中での日本人として豊かな精神性をもって社会貢献する能力を育み、学生が確

実に社会的責務を果たしうる人材として成長することを支援するという使命を大切にしなければなりません。

これらについて、過去にとらわれず全学的な広い視野から見直し、未来社会の創造へ向けてカリキュラムの全面的な組み換えに取り組んでおります。

そしてもうひとつが、この高い専門性と豊かな教育の充実発展を支える、大学環境の整備であります。

基本的なイメージとして、(一)教育研究の多様かつ新たな活動の拠点、(二)伝統に育まれた環境の維持と発展、(三)地域に発信する文化の拠点という三点をおさえて、演習室研究棟と大講堂の建設に取り掛かります。

昨年末には基本設計も固まり、諸準備のち平成二十七年七月に着工し、平成二十八年十一月に竣工の予定です。

これらの教育研究事業の成果のうえに平成二十九年六月の学園創立七十五周年を迎えたいと期しております。

大学運営の基本は、学生諸君の未来を創造する教育研究に基づく着実な成長と、保護者の皆様の教育期待に応えるところにあることを常にとらえかえして進まなければならないと考えます。後援会の皆様の深いご理解と、力強いご支援を心からお願い申しあげること次第であります。



キャンパスの現況

北海道文教大学

副学長 橋内 勇



高校生の二人に一人が大学進学という「大学全入時代」となり、大学教育への期待の高まりとともに、その在り方が問題になっていきます。そこで、大学改革の方向性を踏まえた本学の取り組みと、キャンパスの現況について報告させていただきます。

今日の社会は国際化、少子高齢化、労働力人口の減少、厳しい経済情勢の下での雇用や社会および経済的格差への懸念、財政状況の悪化、社会における安全や安心の確保等の様々な課題が生じており、「予測困難な時代」と言われています。

あらゆる面で国際化が進む今日、大学教育は国際化を意識し、企業や社会の即戦力となり、予測困難な時代に立ち向かえる発想力豊かな人材の養成が強く求められています。また、各国の大学とも留学生が多くなり、海外校との提携や単位の互換性など、世界基準を念頭に入れなければなりません。

文部科学省は現在、大学改革を強力に推し進めています。一部の大学には「授業に出席しなくても単位が取れる」「勉強しなくても簡単に卒業できる」などの批判もあることから、文部科学省は単位認定の厳格化、卒業要件の質保証を各大学に強く求めています。その背景には、大学の国際化が進展する中で、我が国の大学で授与された学位や単位等が他の国でも評価されるよう、各大学が行う単位認定の厳格化、卒業時の質保証が強く求められているからです。本学ではこのような背景の下、厳格な単位認定、卒業時の質保証に努めており、本学の現状は次のようになっています。

(学生数)

近年は少子高齢化の影響で、一部の大学では定員割れが懸念されています。本学は学部の収容定員二、

二〇〇名に対し、二十六年四月一日現在二、四三二名が在籍しており、定員の二倍という理想的な数字で推移しています。

(国家試験合格率)

国家試験を課せられている医療系の学科では、日頃から熱心に学修に取り組んだ成果が現れ、いずれの学科も国家試験の合格率が全国平均を上回っています。

なお、今年度の国家試験日は次のとおりです。各自の奮闘を期待しています。

(就職率)

就職率は現在の就職難の時代にあつて、大学評価のバロメーターの一つでもあります。二十六年春に卒業した本学学生の就職率は、外国語学部九五・七％、健康栄養学科九六・九％、理学療法学科一〇〇％、作業療法学科一〇〇％、看護学科一〇〇％、こども発達学科九六・三％です。

この数字は大学の就職率ランキングで、全国の国立・私立を併せた五五七大学のうち三十三番目、北海道の中では二番目という上位に位置しています。

(奨学金)

日本学生支援機構奨学金(第一種・第二種)の利用者数は、二十七名で全体の四五・九％となり、二人に一人が利用している状況です。

(学生の通学圏)

本学学生の居住地域は、札幌四六％、恵庭三五％、江別四％、苫小牧三％、その他二％となっています。また、そのうち一人暮らし三九・七％、自宅通学六〇・三％となっています。

国家試験名	試験日	合格発表
看護師	平成27年2月22日(日)	3月25日(水)
理学療法士・作業療法士	平成27年3月1日(日)	3月30日(月)
管理栄養士	平成27年3月22日(日)	5月8日(金)

(百円朝食の実施)

百円朝食を後援会の協力の下、九月中旬から試験的に一ヶ月間、一日一〇〇食限定で実施されました。献立は健康栄養学科の学生が考え、豪華なメニューにマスコミからも注目されました。学生には朝食を取ることで、早起きの習慣化など予想以上の反響でした。

(学友会プレハブの新築)

学生自治組織「学友会」の作業場が老朽化したため、後援会の援助で新しいプレハブが設置されました。この新しい作業場のおかげで、学園祭も無事終了しました。

(学生の活躍)

本学のボランティア同好会が恵庭市教育委員会の青少年団体活動者表彰に選出され、また、空手同好会の学生が全国大会に出場するなど、学生の頑張りが目立っています。



後援会から寄付された学友会作業場新プレハブ

就職部便り

求人状況と就職活動について
北海道文教大学 就職部

二〇十五年春卒業予定者の求人数は、景気好転の期待感から上昇傾向を示し、二次募集・追加募集を実施する企業も現れる状況となりました。道内各大学の内定率は前年度を上回る大学が多く、「売り手市場」が定着した状況となりました。企業の多くは辞退者を防ぎ、会社への帰属意識を高めるため、懇親会、研修会、業務見学会を開催し、辞退者防止に努めています。学生側の動向は、九月までの内々定が一部の学生に集中した結果、辞退者の増加・第二志望企業の内定に悩む学生がいる一方、スタート時期が遅れた学生の内定が決まらず、就職活動が長期化するなど、二極化の様相を呈しました。

なお、厚生労働省は今年度に入り、過酷な労働を強いるブラック企業対策を強化するため、残業代不払いなどの違法行為を繰り返す企業の新卒求人、ハローワークで受理しない制度を創設する方針を固めました。

本学では、地元企業を中心とする合同企業説明会の学生参加者が低迷する中、未内定学生に対しては、採用意欲のある企業が同時集合するメリットを説明し、参加企業一社一社の分析から、企業選択の判断材料とするアドバイスを実施しました。また、就職課の職員も説明会会場に出向き、学生との一体感を発揮して、就職活動を精神面から支えることを心掛けました。

さらに昨年十二月、全学科四年生を対象に就職内定者学内セミナーを開催しました。「働く前に知りたいルール」「労働条件の確認」「コンプライアンス遵守」など働く時の基本ルールを身に付ける事により、卒業



本学体育館で行われた学内就職説明会

いない学生向けに、就職リスタート講座を実施しました。単なるノウハウ講座に留まらず、個別学生毎の状況を客観的に精査し、その場で解決策を導きました。さらに、全学年対象として日商簿記資格講座・ファイナンシャルプランニング講座・R-CAP受験(自己診断テスト)・公務員試験対策講座等を実施しました。

理学・作業療法学科学内就職説明会は、八月に開催しました。大学側に病院が一堂に集まる形式は、他大学には無い形式であり、道外を含め七八箇所医療機関が参加となりました。事前に服装、身だしなみ、態度、言葉使い、敬語など細かい注意事項が指摘

後の短期間離職の歯止め策として実施しました。新年度(二〇十六年三月卒業生)より、就職活動は一変します。会社説明会など企業の広報活動は三月から開始、面接や筆記試験など選考は八月から開始となります。前年度比較では採用期間が短期間に集中することになるため、事前対策として年明け早々からインターンシップ、企業セミナー・業界研究会への積極的な参加を奨励しています。

学内就職講座・説明会の実施状況

企業の採用意欲は強く、「学内説明会を開催したい」という要請が相次ぎました。業種別では、食品・卸売・サービス・不動産・社会福祉法人・官公庁等の開催となりました。企業人事担当者の話を直接聞くことにより、学生は応募企業に対する理解が深まり、実際の就職試験の臨場感を体験しました。

■平成26年度 主な学内セミナー・講座開催一覧

実施日時	タイトル	内容	対象
4月23日~24日	集団面接練習(第1回)	4名1組毎の集団面接練習	4年生
5月21日	集団面接練習(第2回)	4名1組毎の集団面接練習	4年生
6月18日	グループディスカッション	6名1組毎の課題討議	4年生
6月~	日商簿記資格講座	簿記3級検定試験対策講座	全学年
6月20日	留学生就職支援セミナー	日本で就職するためには	留学生
8月8日	公務員チャレンジテスト	公務員試験受験希望者	3~4年生
8月25日~29日	ファイナンシャル・プランニング講座	FP3級検定試験対策講座	全学年
8月29日	PT・OT就職説明会	78病院・施設の合同説明会	3~4年生
9月30日	就職リスタート講座	就職未内定者対策講座	4年生
10月14日~17日	R-CAP受験	自己発見診断テスト	2~4年生
11月19日	R-CAP解説セミナー	結果解析・就活における活用方法の解説	2~4年生
12月16日	知らないと損する社会のルール	働く時のルール(労働法、コンプライアンス)	4年生(内定者)
2月9日~10日	就活スタート支援講座	就職活動本番に向けての面接実践講座	3年生
2月9日~25日	公務員対策講座	公務員・教員採用・一般企業筆記試験対策	全学年
3月実施予定	医療系就職直前対策講座	理学・作業・看護学科による実践講座	3年生対象

され、出席した学生にとっては緊張感のある説明会となりました。結果として例年多くの学生が、説明会参加病院から内定を得ています。毎年、盛況を収め、学内説明会として、近年内外共に知られるようになってきました。

景気・経済状況のスピードと変化が速く、企業側が求める資質も多様化する傾向があります。就職課としては、個々の学生の企業選択や動静を考慮しながら、最大の効果を挙げるための学内講座等の開催に取り組んでいきたいと考えています。